



Title: Effectiveness of comprehensive medical care support by healthcare professionals, including nurses, in patients undergoing hemodialysis: a systematic review and meta-analysis (看護師を含む医療専門職による包括的医療ケア支援の血液透析患者における有効性：システマティックレビューおよびメタアナリシス)

Authors: Kutsuna T, Kugai H, Ohashi T, Kunitsu Y, Hitoshi K, Ikeda N, Sofue T, Fujii N, Saitoh M, Narita I, Yamagata K, Hoshino J, Kosaka S

(忽那 俊樹 (東京工科大学 准教授)、久貝 波留奈 (東京大学 特任助教)、大橋 尚弘 (大阪医科薬科大学 准教授)、國津 侑貴 (京都大学医学部附属病院)、等 浩太郎 (金城学院大学 講師)、池田 直隆 (大阪公立大学 講師)、祖父江 理 (香川大学 准教授)、藤井 直彦 (兵庫県立西宮病院 部長)、齊藤 正和 (順天堂大学 先任准教授)、成田 一衛 (新潟県スポーツ協会 センター長)、山縣 邦弘 (筑波大学 教授)、星野 純一 (東京女子医科大学 教授)、小坂 志保 (東邦大学 准教授))

Journal: Renal Replacement Therapy 12 (2026) 6

掲載年月: 2026 年 1 月

研究概要: 看護師を含む医療専門職が実施する包括的医療ケア支援が血液透析患者に与える効果について、既存文献を網羅的に検索・統合して調査しました。本結果を活用することにより、血液透析患者に対する医療行為を行う際の指針が明確となり、質の高い個別ケアの提供につながることが期待されます。

研究背景: 血液透析患者は、身体的・心理的・生活習慣に関連する合併症のリスクが高く、それらは臨床転帰に悪影響を及ぼします。包括的医療ケア支援のなかでも、特に看護師を含む多職種チームによる支援がこれらの課題解決に寄与する可能性があるものの、その有効性は依然として不明確でした。

研究成果: 25 研究 (メタ解析 11 研究) を統合した結果、包括的医療ケア支援を実施することで、通常歩行速度、収縮期・拡張期血圧、および健康関連 QOL (quality of life) の身体面が改善しました。一方、精神面 QOL や自己管理能力には有意な変化を示さず、研究間の異質性も大きい結果でした。エビデンスの確実性は非常に低～中等度でした。(表にまとめています)

表 GRADE 評価と結果の要約

Outcome	Certainty assessment					No. of participants		Anticipated absolute effect (95% CI)	Certainty
	Risk of bias	Inconsistency	Indirectness	Imprecision	Other considerations	Intervention	Control		
Physical function: normal gait speed (2 RCTs)	Serious ^a	Not serious	Not serious	Serious ^b	None	79	78	MD 10.51 cm/s (3.58 to 17.44)	⊕⊕○○ Low
Complications: SBP (4 RCTs)	Serious ^c	Not serious	Not serious	Serious ^d	None	179	178	MD -8.07 mmHg (-15.57 to -0.58)	⊕⊕○○ Low
Complications: DBP (3 RCTs)	Serious ^e	Not serious	Not serious	Serious ^f	None	133	134	MD -5.79 mmHg (-7.89 to -3.69)	⊕⊕○○ Low
HR-QOL: PCS (4 RCTs)	Not serious	Not serious	Not serious	Serious ^g	None	161	166	SMD 0.22 (0.003 to 0.44)	⊕⊕⊕○ Moderate
HR-QOL: MCS (4 RCTs)	Not serious	Not serious	Not serious	Serious ^h	None	161	166	SMD 0.11 (-0.12 to 0.33)	⊕⊕⊕○ Moderate
Self-management ability: SUPPH (2 RCTs)	Serious ⁱ	Serious ^j	Not serious	Serious ^k	None	45	53	MD 13.10 points (-4.23 to 30.43)	⊕○○○ Very low
Self-management ability: RABQ (2 RCTs)	Serious ^l	Serious ^m	Not serious	Serious ⁿ	None	166	193	MD -0.33 points (-7.90 to 7.25)	⊕○○○ Very low

社会への影響：包括的医療ケア支援の有効性が示されたことから、血液透析患者の日常診療において根拠を持った治療の選択肢の一つとすることができ、より有益な個別ケアを提供することができると考えられます。

専門用語：

包括的医療ケア支援：複数の医療職が連携し、医学的な治療だけでなく生活・心理面まで含めて患者を継続的に支える支援

血液透析：腎臓の働きが低下した人の血液を体外の機械でろ過し、老廃物や余分な水分を取り除いて体内環境を保つ治療法

システマティックレビュー：特定の問いに対し、既存研究を決めた手順で網羅的に集め、結果を偏りなく整理・要約する方法

メタアナリシス：複数研究の数値データを統計的に統合し、個々の研究だけでは見えにくい治療効果の全体像を示す解析手法

GRADE 評価：研究結果の確かさ（エビデンスの質）と推奨の強さを、明確な基準で「高い～非常に低い」などに分類する方法

健康関連 QOL：病気や治療が、身体・精神・社会生活にどの程度影響し、本人がどれだけ良い生活を送れているかを示す指標